

平成22年度 7月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

7月にはいって、夏休みの研究として小学校や中学校からの質問や、学校からの問い合わせも増えてきた。またあわせて、教員経由で、数名のグループ単位で、国際協力についての調査についても多くなってきた。今月の傾向としては、国際理解研究会や、NGO団体が開発教育についての取組みを強化したいということでの問い合わせもあった。NGO設立についての相談は以前よりも多くなっており、職場や社会活動としての関心が高まっているように思われる。環境と国際協力は北海道地域にはなくてはならないテーマであり、これからも社会状況と共にNGO相談業務に当たってゆきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	NPO・NGO活動について	
相談内容	起業としてのNPO・NGOの就職状況について知りたい	
対応内容	北海道においては、NPO・NGOへの就職は極めて難しい状況にあることを伝える。人材育成の視点からは、名古屋NGOセンターのNタマや、北海道NPO雇用創出プログラムなどについて説明をした。まずはネットワークNGOについて学ぶということで、HIFの関連NGOを紹介し、学んでから更に相談に乗ることとした。	
特筆した理由	①就職先としてNGOを考えるという相談が複数あったため ②実際の現場については知らないケースが多く、経験をする必要性を感じたため	

2	海外の子供たち支援について	
相談内容	海外で生活するストリートチルドレンの支援をしたいがどのような方法があるのか	
対応内容	東京で活動しているACEについて説明をする。また、ストリートチルドレンを支援しているACTIONについても紹介し、この夏に北海道にも来ることから、情報の詳細についてもお知らせする。子供向けについても、真珠まりこさんの「もったいないシリーズ」などから海外の状況について説明をした。	
特筆した理由	①海外の子供支援について中学生から退職者まで幅広い相談があったため ②海外と日本の子供を問わず、社会問題について関心が高まっていると感じたため	

3	農業と国際協力	
相談内容	農業に従事しているが、海外で農業協力はできないのかを教えて欲しい	
対応内容	農業技術を途上国に知らせるという点では、JICAの技術協力という立場もあるし、独自にマラウイとの農業協力を生んでいる滝川の事例などがある。また農業で支援をしている栃木のアジア学院のケースなどもあげながら、様々な選択肢があることを伝えた	
特筆した理由	①農業と国際協力が取り上げられた相談は極めて稀有だったため ②一次産業とのつながりをもっと意識して相談業務にあたる必要性を感じたため	